

夏休み 庄内子ども企業探検隊 REPORT



「夏休み庄内子ども企業探検隊」(主催・山形新聞社)が7月28日に開催されました。庄内の小学生30人が道路の工事現場や工場などを見学。私たちの暮らしを支えてくれるさまざまな仕事について楽しく学びました。



工事真っ最中の国道で 道路の役割学んだよ

続いてバスが向かったのは庄内町の「余目酒田道路」工事現場。自動車専用道路として、国土交通省酒田河川国道事務所が整備を進めています。着工は2004年。昨年11月に5.9%が開通したのに続き、来年度6.8%が完成する予定です。現場では建設監督官の神信一さんが道路の役割などを教えてくれました。ほかにも「働く車」に試乗したり、道路にお絵描きしたり、楽しい体験がたくさん。現場で働くお兄さんたちに手伝ってもらいながら、生のコンクリートを筒状の容器に入れて、持ち帰りました。数日たつと、固いコンクリートになるそうです。毎日使っている道路がどうやってできるのか、理解を深めました。



酒田河川国道事務所 酒田市上安町1-2-1 TEL.0234-27-3331代
http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/

◆吉岡拓馬さん(鶴岡市立朝陽小4年)
「油圧ショベルに乗ってみたいとでも大きかった。この場所が、来年度は道路になっているなんてびっくり。完成したら車で通ってみたいですね」

庄内特産のメロン ここで育って全国へ

最初に訪れたのはJA鶴岡の西郷選果場。JA鶴岡園芸部の黒坂新也さんが案内してくれました。ここには6月下旬から8月中旬にかけて、約190人の農家さんが育てるメロンが集まり、主に関東方面へ出荷されていきます。その数なんと、256万個! メロンの種類はアンデス、鶴姫、鶴姫レッドの3種類。ちなみに



アンデスの名前の由来は「あんしん(安心)です」から「しん(芯)」を取った……って知ってました? 続いて畑に向かい、待ちに待った収穫体験です。農家さんに教えてもらい、砂丘の畑の中から自分で大きなメロンを選び、つるをはさみでカット。「重い!」ずしっとくる重量感に驚いていました。



JA鶴岡 鶴岡市日吉町3-7 TEL.0235-23-5090
http://www.ja-tsruoka.or.jp

生活をより良くする 土木や建設のお仕事

酒田建設業協会の見学場所は、酒田市の山居倉庫すぐ近く新内橋の工事現場。県の発注で新しい橋に架け替える工事を行っています。施工を担当する総合建設業「丸高」土木工事部の成田さんが説明してくれました。まずは「土木」の仕事について。土木は道路



や橋、トンネルなどの施設を建設したり、安全な状態に保つ仕事です。これにより私たちの暮らしがより良いものになっていきます。作業するときに身に付ける安全帯というベルトや、重い物が落ちても大丈夫な安全靴なども見せてもらいました。こうして安全に気を配りながら、暮らしに欠かせないインフラを造っている仕事について学びました。

◆相澤 拓さん(鶴岡市立朝陽小4年)
「クレーン車が65%もの重さを持ち上げられると聞いて驚きました。10%くらいかと思っていました」



一般社団法人 酒田建設業協会 酒田市ゆたか1丁目1-1 TEL.0234-33-0702代
FAX.0234-33-0704

熱気と元気あふれる クリーニング工場

続く見学先は県内外で「うさちゃんクリーニング」などを展開するロイヤルネットワーク。酒田市新橋にある店舗とクリーニング工場を訪ねました。店舗には、多いときで1日千着もの服が持ち込まれるそうです。工場は一歩中に入ると、大きな洗濯機や乾燥機が回り、熱気が立ち込めていました。着物専門の工場には、全国600の店舗に寄せられた着物やドレスが全て集まっています。たくさん女性の女性が働いており、染み抜きなどの前処理を一点一歩、美しい手さばきでアイロンをかけていました。

隣接する工場では、ワイシャツなど身近な洋服が、次々と折り目正しく仕上がっていきます。クリーニングが仕上がる過程と、プロの仕事ぶりを間近に見ることができました。



◆石川天花さん(酒田市立松原小5年)
大八木 凜さん(鶴岡市立朝陽小5年)
「外側からは分からないけど、工場の中はとても暑くてびっくりした。難しいお仕事だけど、みんなキビキビ動いてすごかった」



ロイヤルネットワーク株式会社
うさちゃんクリーニング
本社・酒田市浜田1-7-20 TEL.0234-21-1888
うさちゃんクリーニング

お金の重さと大切さ 身近な金融機関で実感

最後にバスが到着したのは、鶴岡市内にある鶴岡信用金庫本部。総合企画部審査役の小野洋介さんに案内してもらいました。庄内一円に19店舗を運営する鶴岡信用金庫。預金や融資、為替、両替などを扱う金融機関のお仕事について説明を聞いた後、シャッターが閉まった後の店舗内部や、貸金庫などを見学しました。1億円が入っているというジュラルミンケースを持たせてもらって体験も。続いて「プロっぽい」お金の数え方を教わりました。「お客さまからお預かりしたお金を、きちんと数えるために」職員は皆、身に付けているそうです。私たちの大切なお金を、大切に扱ってくれる身近な金融機関の役割について、理解を深めました。



◆高橋亮平さん(酒田市立泉小4年)
「1億円って軽そうに見えたけど、とても重くてびっくりした。貸金庫の中に初めて入れて、いい体験ができたと思いました」



鶴岡信用金庫 鶴岡市馬場町1-14 TEL.0235-22-2360代
http://www.tsruoka-sk.jp

熱気と元気あふれる クリーニング工場

続く見学先は県内外で「うさちゃんクリーニング」などを展開するロイヤルネットワーク。酒田市新橋にある店舗とクリーニング工場を訪ねました。店舗には、多いときで1日千着もの服が持ち込まれるそうです。工場は一歩中に入ると、大きな洗濯機や乾燥機が回り、熱気が立ち込めていました。着物専門の工場には、全国600の店舗に寄せられた着物やドレスが全て集まってきます。たくさんの女性が働いており、染み抜きなどの前処理を一点一点施し、美しい手さばきでアイロンをかけていました。

隣接する工場では、ワイシャツなど身近な洋服が、次々と折り目正しく仕上がっていきます。クリーニングが仕上がる過程と、プロの仕事ぶりを間近に見ることができました。



◆石川天花さん(酒田市立松原小5年)
大八木 凛さん(鶴岡市立朝陽一小5年)

「外側からは分からないけど、工場の中はとても暑くてびっくりした。難しそうなお仕事だけど、みんなキビキビ動いていてすごかった」



ロイヤルネットワーク株式会社

うさちゃんクリーニング

本社/酒田市浜田1-7-20 TEL.0234-21-1888

うさちゃんクリーニング

検索